

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業		事業計画期間	平成30年度～平成34年度（5年間）												
事業実施地区名 （都道府県名）	（きたかみがわちゅうりゅう） 北上川中流森林計画区 （岩手県）		事業実施主体	東北森林管理局 （岩手南部森林管理署、岩手南部森林管理署遠野支署）												
事業の概要・目的	<p>本事業は、岩手県南西部に位置し、北側は北上川上流及び久慈・閉伊川森林計画区、東側は大槌・気仙川森林計画区、南側は宮城北部森林計画区、西側は雄物川森林計画区に接する奥州市をはじめとする5市3町にまたがる国有林野150千haを対象としている。</p> <p>本計画区の森林の現況は、人工林を中心とする育成林が57千ha、天然林が74千haとなっており、主な樹種はスギ5,228千m<sup>3</sup>、カラマツ2,525千m<sup>3</sup>、アカマツ1,462千m<sup>3</sup>、広葉樹ではブナ5,964千m<sup>3</sup>、ナラ類627千m<sup>3</sup>となっている。</p> <p>人工林はX齢級をピークとした齢級構成となっており、このうち、利用期に達しているX齢級以上が約6割を占めていることから、主伐・間伐を積極的に推進し、木材利用の拡大と主伐後の確実な更新に取り組む必要がある。</p> <p>また、本計画区内では「早池峰山周辺森林生態系保護地域」及び「栗駒山・栃ヶ山周辺森林生態系保護地域」を設定するとともに、「栗駒国定公園」、「花巻温泉郷県立自然公園」、「和賀岳自然環境保全地域」等に指定され、温泉やスキー場等の施設が整備されているとともに、花巻市等の都市部から比較的アクセスの良い立地条件にあることから、スキー、登山等の森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>本計画区の国有林野の93%が保安林に指定されており、水源涵養や土砂流出防備等に重要な役割を果たしているほか、山地災害による人命・施設の被害防備や自然環境の保全・風致景観の維持及び保健休養の場の提供などの公益的機能を高度に発揮させることが求められている。</p> <p>林業・木材産業については、従来より豊かな森林資源を利用した製紙等の木材加工業が発達しているほか、キノコや山菜を利用した食品加工業が地域の重要な産業となっている。</p> <p>また、近年県内で大型合板工場及び木質バイオマス発電施設の稼働が相次いでおり、合板材の原料、木質バイオマス発電用燃料等として木材需要が増加している。</p> <p>本事業においては、国有林材の安定的・持続的供給に努めつつ、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とし、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施する。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 30%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">2,545 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">16,231 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">47.0 km</td> </tr> </table> <p>総事業費 12,456,437千円</p>				主な事業内容	森林整備	更新面積	2,545 ha			保育面積	16,231 ha		路網整備	開設延長	47.0 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	2,545 ha													
		保育面積	16,231 ha													
	路網整備	開設延長	47.0 km													
費用便益分析	総便益（B）	54,758,160千円														
	総費用（C）	16,077,369千円														
	分析結果（B/C）	3.41														
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>人工林の齢級構成がX齢級をピークとした一山型であり、X齢級以上が約6割と主伐期に達している林分が増加しており、森林整備を行うことで公益的機能の発揮と木材生産等を通じた地域振興への寄与が発揮されていることから、事業の必要性が認められる。</p>															
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性：地球温暖化防止対策や国土保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給に関する地域の要請に応えるため、本事業の実施が必要である。</li> <li>・ 効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性：国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分発揮させる有効な事業と認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>															

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業		事業計画期間	平成30年度～平成34年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（よねしろがわ） 米代川森林計画区 （秋田県）		事業実施主体	東北森林管理局 （米代東部森林管理署、米代東部森林管理署上小阿仁支署、米代西部森林管理署）
事業の概要・目的	<p>本事業は、秋田県の北部に位置し、北側は津軽森林計画区、東側は三八上北及び馬淵川上流森林計画区、南側は雄物川森林計画区に接し、西側は日本海に臨む能代市や米代川上流部に位置する大館市を含む6市6町1村にまたがる国有林野209千haを対象としている。</p> <p>本計画区の森林の現況は、人工林を中心とする育成林が102千ha、天然生林が97千haとなっており、主な樹種としてはスギ20,190千m<sup>3</sup>、カラマツ1,137千m<sup>3</sup>、アカマツ467千m<sup>3</sup>、広葉樹ではブナ6,858千m<sup>3</sup>、ナラ類668千m<sup>3</sup>となっている。</p> <p>人工林はⅩ齢級をピークとした齢級構成となっており、このうち、利用期に達しているⅩ齢級以上が約7割を占めていることから、主伐・間伐を積極的に推進し、木材利用の拡大と主伐後の確実な更新に取り組む必要がある。</p> <p>また、本計画区には優れた自然環境を有する地域が多く、東アジアで最大の原生的なブナ林が大面積にわたって維持されている地域を「白神山地森林生態系保護地域」に設定するとともに、「白神山地世界遺産地域」、「白神山地自然環境保全地域」に指定されている。さらに、「十和田八幡平国立公園」、「男鹿国定公園」、「森吉山県立自然公園」等に指定され、温泉やスキー場等の施設が整備されているとともに、能代市、大館市等の都市部から比較的アクセスの良い立地条件にあることから、登山、散策等の森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>本計画区の国有林野の93%が保安林に指定されており、水源涵養や土砂流出防備等に重要な役割を果たしているほか、山地災害による人命・施設の被害防備や自然環境の保全・風致景観の維持及び保健休養の場の提供などの公益的機能を高度に発揮させることが求められている。</p> <p>林業・木材産業については、藩政時代から優良な天然秋田杉の産地として知られており、豊富な森林資源を背景に木材関連産業が発達してきたことから、地域経済の中で大きな役割を果たしている。現在も全国有数のスギ人工林資源を有しており、地域にとって国有林からの木材の安定供給への期待は依然として高い。</p> <p>本事業においては、国有林材の安定的・持続的供給に努めつつ、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とし、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施する。</p>			
	主な事業内容	森林整備	更新面積	3,646 ha
			保育面積	22,499 ha
		路網整備	開設延長	49.3 km
	総事業費			19,239,798千円
費用便益分析	総便益（B）			99,924,893千円
	総費用（C）			25,328,631千円
	分析結果（B/C）			3.95
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	人工林の齢級構成がⅩ齢級をピークとした一山型であり、Ⅹ齢級以上が約7割と主伐期に達している林分が増加しており、森林整備を行うことで公益的機能の発揮と木材生産等を通じた地域振興への寄与が発揮されていることから、事業の必要性が認められる。			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：地球温暖化防止対策や国土保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給に関する地域の要請に応えるため、本事業の実施が必要である。</li> <li>・効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> <li>・有効性：国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分発揮させる有効な事業と認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>			

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業計画期間	平成30年度～平成34年度（5年間）												
事業実施地区名 （都道府県名）	（しょうない） 庄内森林計画区 （山形県）	事業実施主体	東北森林管理局 庄内森林管理署												
事業の概要・目的	<p>本事業は、山形県の北西部に位置し、北側は子吉川森林計画区、東側は最上村山森林計画区、南側は新潟県下越森林計画区に接し、西側は日本海に臨む鶴岡市をはじめとする2市2町にまたがる国有林野93千haである。</p> <p>本計画区の森林の現況は、人工林を中心とする育成林が13千ha、天然生林が69千haとなっており、主な樹種ではスギ2,770千m<sup>3</sup>、カラマツ123千m<sup>3</sup>、クロマツ227千m<sup>3</sup>、広葉樹ではブナ4,177千m<sup>3</sup>、ナラ類387千m<sup>3</sup>となっている。</p> <p>人工林はXⅡ齢級をピークとした齢級構成となっており、このうち、利用期に達しているX齢級以上が約7割を占めていることから、主伐・間伐を積極的に推進し、木材利用の拡大と主伐後の確実な更新に取り組む必要がある。</p> <p>また、本計画区内には、月山、湯殿山、羽黒山をはじめ、優れた景観を有する地域が多く、原始的な天然林等の優れた自然環境を保護・管理するため「朝日山地森林生態系保護地域」を設定しているとともに、「磐梯朝日国立公園」、「鳥海国立公園」、「庄内海浜県立自然公園」等に指定され、温泉やスキー場等の施設が整っており、登山、散策等の森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>本計画区の国有林野の96%が保安林に指定されており、水源涵養や土砂流出防備等に重要な役割を果たしているほか、山地災害による人命・施設の被害防備や自然環境の保全・風致景観の維持及び保健休養の場の提供などの公益的機能を高度に発揮させることが求められている。</p> <p>林業・木材産業については、豊かな森林資源を利用した木材加工業が発達しているほか、キノコ、山菜等の林産物加工業が地域の重要な産業となっている。</p> <p>また、近年県内で大型集成材工場の稼働や木質バイオマス発電施設の建設が相次いでおり、集成材の原料や木質バイオマス発電用燃料として木材需要が増加している。</p> <p>本事業においては、国有林材の安定的・持続的供給に努めつつ、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とし、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施する。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 30%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">867 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">3,212 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">16.1 km</td> </tr> </table> <p>総事業費 3,620,591千円</p>			主な事業内容	森林整備	更新面積	867 ha			保育面積	3,212 ha		路網整備	開設延長	16.1 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	867 ha												
		保育面積	3,212 ha												
	路網整備	開設延長	16.1 km												
費用便益分析	総便益（B）	16,000,323千円													
	総費用（C）	4,902,816千円													
	分析結果（B/C）	3.26													
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	<p>人工林の齢級構成がⅡ齢級をピークとした一山型であり、X齢級以上が約7割と主伐期に達している林分が増加しており、森林整備を行うことで公益的機能の発揮と木材生産等を通じた地域振興への寄与が発揮されていることから、事業の必要性が認められる。</p>														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：地球温暖化防止対策や国土保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給に関する地域の要請に応えるため、本事業の実施が必要である。</li> <li>・効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> <li>・有効性：国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分発揮させる有効な事業と認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														